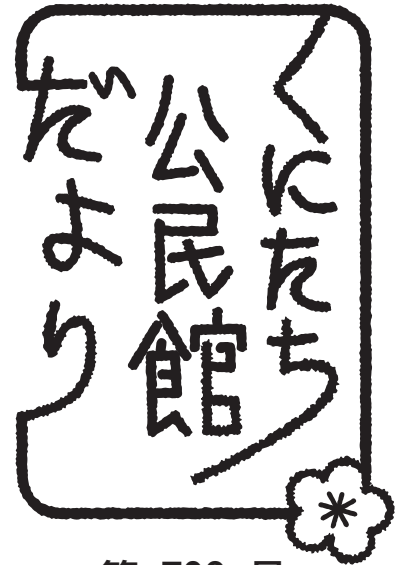


〈パラスポーツ体験講座〉

『ゴールボールを通じた パラスポーツの魅力』



お 話 川田 幸生きち（一橋大学大学院生）



第 706 号

2018年12月5日
(平成30年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



華麗なる回転シュート!!

2020年オリンピック・パラリンピックの開催が迫るなか、11月10日（土）にパラスポーツ体験講座「ゴールボールの大会をみにいこう」を開催しました。一橋大学大学院生でパラスポーツの研究をされている川田幸生さんに、参加者の様子をお聞きました。パラスポーツの魅力をお聞きました。
*ゴールボールとは、目隠しをして鈴入りのボールを転がすように投球し合い、ゴールを競うチームスポーツ。
パラスポーツについて
既存のスポーツに参加しやすいように工夫されたものもあれば、

発行
国立市公民館
〒186-0004
国立市中1-15-1
TEL 042-572-5141
FAX 042-573-0480
休館日：毎週月曜日

1からルールが考案されたものなど、背景は様々です。共通して言えることは、しょうがいがあることがスポーツに参加することの障壁にならないルール設計がされていることです。

ゴールボールの魅力とは？

普段の生活には音があふれており、無音である空間は意図的に作らないとなかなかありません。ゴールボールではアイシールド（目隠し）を装着し、音を聞き取るために集中します。チーム内での声掛け、相手を混乱させるためのフレイッシュの音、いくつもの音がコート内で奏でられます。自分の動いている音はどんな音か？相手選手の手音はどんな音か？プレイする側も応援する側も音に注目して楽しむスポーツです。アイシールドは装着すると光も入らなく真っ暗。コートに入っているみんなが

今月の公民館 (12月、1月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 13日（木）夜 くにとちブッククラブ
佐藤春夫『美しき町』
- 14日（金）夜 *図書室のつどい
『顔』についての心理学
- 16日（日）朝～くにたち野鳥観察
- 16日（日）昼 * CINEVOX シネマトーク
『キューポラのある街』
- 1月8日（火）夜～日本語教育入門
- 12日（土）昼 パラスポーツ体験講座 第2弾
- 12日（土）昼～哲学講座
長谷川宏さんと読む「幸福とは何か」
- 20日（日）昼～はじめての銅版画

同じ条件で参加しています。しょうがいの有無にかかわらず一緒にプレイできるのもゴールボールの魅力ではないでしょうか。

講座参加者の感想

11月10日にパラスポーツ体験講座「ゴールボールの大会をみにいこう」が実施され、秋晴れのなか、コートインターの川田さんとともに東京都多摩障害者スポーツセンター（味の素スタジアム内）へ試合を見に行きました。以下参加者のみなさんからの感想です。
○ボールを転がすという単純なゲームかと思っていた。しかし、実

際にプレイして観戦することで考えること、把握することが多く一筋縄ではいかないことを感じた。興味深い体験であった。

○（デイフェンスで）止めた時に強いボールと弱いボールの止め方が違っていて難しかった。

○試合を観戦して、男子のボールは勢いもあり、ブロッックの時に痛そう。ゴール時には歓声も上がり、競技としても楽しそうであった。

次回「パラスポーツ体験講座」は、1月12日（土）に開催いたします。ぜひお気軽にご参加ください。詳しくは5ページをご参照ください。

第31期 公民館運営審議会

活動のまとめ

(任期 2016年11月1日から2018年10月31日まで)

国立市公民館運営審議会(以下、公運審)は、市民や専門家などで構成され、2年間の任期で月1回定例会を開いています。公民館に市民の声を反映するための会、どなたでも傍聴できます。

はつめこ

第31期公運審は、委員15名(社会教育活動団体からの推薦者11名、学識経験者2名、学校教育の関係者1名、家庭教育の関係者1名)で、うち前30期から継続の委員は10名(うち1名は途中交代)、初めて委員は5名でした。

2016年11月の第1回定例会で教育長より委嘱状が手渡され、正副委員長、各種担当を選任(留任含む)しました。続く第2・3回では、学識委員の副委員長を講師に研修を行い、公民館の歴史・目的、相互教育の重要性などを学びました。また、関連法令資料の配付を受けたり、以降の定例会でも随時、館長より当該年度の実施事業・予算等について説明を受け、意見を出し合いました。

「ふりかえる会」への取り組み

第6〜8回(4〜6月)には、前第30期答申「国立市公民館の事業評価のあり方について」の読み合わせを行い、事業評価について議論を行いました。7月、館長より、答申で示された提案の一つ、「公民館活動をふりかえる会」の具体化に向けた協議と実施・運営をお願いする、との提案がなされました。公運審は年内実施を目標に世話人4人を選出し、具体化に向けて準備を進めました。企画のねらいとして、よりよい事業企画・運営のために参加者が一堂に会して「研究する」初めての試みであり、事業の価値や課題を言葉にして共有することを確認しました。

2018年1月7日、「みんなて話そう公民館講座―市民と職員で『学び』をふりかえる会―」を開催しました(公民館だより3月号に開催報告を掲載)。主催講座から4つの事例を取り上げ、講座担当職員によるふりかえりの後、参加者も提示された観点を基にグ

ループ討論を行いました。開催後は世話人会やグループごとの公運審委員によるふりかえりの作業を経て、公運審で今後はどうつなげるか等の議論を行いました。十分な時間がとれませんでした。また、記録集として冊子を作成しました。ふりかえる会の結果を次年度以降の事業運営に生かしていくことを願っています。



ふりかえる会では熱心な議論が行われました。

人事体制に関する要望書の提出

公民館の事業運営にあたっては、充実した職員体制こそが柱となります。近年、国立市公民館では、正規職員定数の減少、職員の短期間での異動、事業の中核を担う専門性の高い職員の異動・退職がありました。

第31期公運審 活動記録

16・11・8	「第1回定例会」委嘱状伝達。委員長、副委員長選出。公民館だより編集研究委員、社会教育学習会担当を選出。
12・13	「第2回定例会」委員研修「公民館が教育機関であること」。
17・1・10	「第3回定例会」委員研修「公民館が教育機関であること」。
1	「国立市公民館の職員体制に関する要望書(案)」を検討。
1・19	「国立市公民館の職員体制に関する要望書を市長、教育長に提出」。
1・21	第53回東京都公民館研究大会。委員6名参加。
2・14	「第4回定例会」前半、市民にとって望ましい館長・職員体制について教育長と意見交換。その後、国立市公民館規程第3条について議論。
3・30	「第5回定例会」第30期答申「国立市公民館の事業評価のあり方について」に対する取り組みについて検討。次期社会教育委員の会委員を選出。
4・11	「第6回定例会」第30期答申について読み合わせを行い、副委員長より解説。
4・19	東京都公民館連絡協議会(以下、都公連)総会。委員2名出席。
5・9	「第7回定例会」第30期答申について前期からの委員より説明。職員の見解も聴く。「国立市公民館と一橋大学大学院言語社会研究科との社会連携に関する覚書」について館長より説明。
6・13	「第8回定例会」29年度事業計画と予算、28年度事業の報告。社会教育学習会より第30期答申の提案への取り組みについて検討結果を報告、意見交換。
7・11	「第9回定例会」第30期答申で提案された「公民館活動をふりかえる会」(以下、「ふりかえる会」)の実施について館長より提案。年内実施とし、世話人会発足。
8・8	「第10回定例会」「ふりかえる会」の実施について、世話人会が企画協議内容を提案、全体で検討し確認。
8・29	トライアルとして「プレふりかえる会」を実施。委員有志が参加。
9・2	都公連委員会研修会(講師・永田浩三氏)。委員3名参加。
9・12	「第11回定例会」「プレふりかえる会」の結果をもとに「ふりかえる会」の実施方法について検討。
10・10	「第12回定例会」「ふりかえる会」の内容、タイトル、進め方などを検討。文部科学省再編の動きについて意見交換。
11・14	「第13回定例会」「ふりかえる会」の会の目的・観点等、案内文について検討。
12・12	「第14回定例会」「ふりかえる会」のプログラム等検討。「国立市公民館の職員体制の充実を求める要望書(案)」を協議。

公運審では、人事異動時期を前にした、2017年1月、2018年1月に、教育長・市長に要望書提出と面談を行い、公民館職員体制の充実を訴えてきました。職員の異動については、公民館事業の独自性と職員の役割に十分配慮し、専門性、資格、経験等を考慮してください、人事については、公民館事業の後退・停滞をもたらさないよう配慮してください、等を要望しました。

こうした中、2018年度の国立市職員募集で10数年ぶりに社会教育の専門資格をもった職員の募集がなされ、4月には公民館に1名が配属されました。

**公民館の置かれた状況に
対して学習会等の開催**

文部科学省は2018年10月16日、大きな組織再編を実施し、「社会教育課」の名称を廃止し、「地域学習推進課」に統合しました。また、現在、中央教育審議会では、公民館・図書館・博物館など社会教育施設の所管を教育委員会から首長部局に移管する検討がされています。公運審が企画する社会教育学習会で、二度(2018年2月8日、8月9日)、講師を招いて学習会を開催し、定例会で意見書の提出などを検討しました。

また、国立市では現在、「国立市生涯学習振興・推進計画」を策定中です。公運審では、社会教育委員の会委員の報告を受けたり、前年度出された社会教育委員の会の答申の読み合わせを行いました。東京都公民館連絡協議会委員会から、毎回、他市の公民館の状況などが報告されており、国立市公運審としても参考にしながら、公民館のよりよい姿を追求していきたいと考えます。

公運審をめくって

2018年2月定例会で「館長人事について公運審の意見を聴く」(国立市公民館処務規則第3条)に関して議論を行いました。その際の傍聴者の発言をめくって議論がされました。

公民館だより70号記念記事(2018年6月号)に対して、市民団体よりの抗議文、市民個人よりの手紙を公運審等宛てにいただきました。編集研究委員会から、抗議文の内容には疑問があるとの検討結果の報告を受けました。

おわりに

公運審の定例会は、しばしば議論が白熱するほど活発です。毎回、市民の方々も傍聴にこられ、心強い存在です。これからも多くの市民が学び合い、公民館を中心として地域にその輪が広がるよう期待しています。



第31期公民館運営審議会

- 富田和枝(委員長)、大串隆吉(副委員長)、今村和義、大井利雄、川田幸生、鈴木直文、高木裕子、龍野瑤子、鶴田美緒、深川彌生、古旗真幸、間瀬英一郎、三好紀子、若林秀一(2018年3月まで宮脇聡)、和智裕貴
- 東京都公民館連絡協議会委員会委員 大井利雄
- 「公民館だより」編集研究委員 川田幸生、高木裕子、鶴田美緒
- 社会教育学習会担当 龍野瑤子、古旗真幸、三好紀子
- 社会教育委員の会委員 間瀬英一郎

18・1・7	「みんなで話そう公民館講座―市民と職員で『学び』をふりかえる会」を開催。委員15名参加。
1・9	「第15回定例会」『ふりかえる会』の実施後の意見交換。「国立市公民館の職員体制の充実を求める要望書(案)」を検討。
1・25	「国立市公民館の職員体制の充実を求める要望書」を教育長に提出
2・3	第54回東京都公民館研究大会。委員4名参加。第2課題別分科会で国立市の取り組み「ふりかえる会」の報告を行う。
2・8	「国立市公民館の職員体制の充実を求める要望書」を市長に提出。社会教育学習会「どうする社会教育―社会教育法・生涯学習施策のあゆみと文部科学省の2018年機構改革の行方」(講師・長澤成次氏)を開催。
2・13	「第16回定例会」前半、市民にとって望ましい館長・職員体制について教育長と意見交換。その後、国立市公民館処務規則第3条について議論。
3・27	「第17回定例会」『ふりかえる会』の今後の展開について議論。傍聴者発言について議論。東京都公民館研究大会課題別集会について職員より説明。
4・10	「第18回定例会」『ふりかえる会』のまとめについて検討。傍聴者発言について議論。第31期「活動のまとめ」日程等を確認。都公連総会。委員2名出席。
4・20	「第19回定例会」傍聴者発言について議論。30年度の主催事業と予算を館長より説明。「ふりかえる会」のまとめ方および記録集の提案について討議。
5・8	「第20回定例会」29年度事業報告を館長より説明。「ふりかえる会」の記録集について討議。22日、委員有志が記録集の読み合わせを実施。
6・12	「第21回定例会」社会教育学習会の企画について報告、確認。公民館だより70号への抗議文等報告。「ふりかえる会」の記録集の内容提案、検討、各グループ討議を参加委員がまとめることに決定。社会教育学習会「公民館のウイングを拡げる―社会変化と住民自治―」(講師・牧野篤氏)を開催。委員7名参加。
7・10	「第22回定例会」『ふりかえる会』について各グループ討議のまとめを報告。記録集のまとめ方・日程等を討議。公民館だより70号への抗議文等に対する公民館だより編集研究委員会の意見を報告。都公連委員会研修(講師・長澤成次氏。委員1名参加)。
8・9	「第23回定例会」『ふりかえる会』の記録集について討議、グループ討議のまとめは各グループのもの掲載。第31期「活動のまとめ」を検討。
8・10	「第24回定例会」『ふりかえる会』の記録集の検討タイトルを「みんなで話そう公民館講座―市民と職員で『学び』をふりかえる会実施記録―」と決定。第31期「活動のまとめ」の検討。
9・1	
9・11	
10・9	



監督・脚本 浦山桐郎 原作 早船ちよ 脚本 今村昌平
撮影 姫田真佐久 音楽 黛敏郎
出演 吉永小百合、市川好郎、浜田光夫、東野英治郎、小沢昭一、吉行和子、殿山泰司、加藤武、北林谷栄、杉山徳子、菅井きん、浜村純 ほか

鑄物の町として知られる埼玉県川口市を舞台に、鑄物工場に勤める職人の父を持つ、15歳のジュン(吉永小百合)とタカユキ(市川好郎)の姉弟が、貧しい家庭環境の中で様々な問題を抱えながらも、明るさを忘れず、けなげに生きてゆく姿を描き、さわやかな感動を呼ぶ名作。ジュンを瑞々しく演じた吉永小百合は弱冠17歳で見事ブルーリボン賞主演女優賞を受賞。これは当時の演技賞最年少受賞記録であり、一躍スター女優仲間入りを果たした吉永小百合は、本作をきっかけに日本映画を代表する大スターへと成長してゆく。

〈シネマトーク〉「吉永小百合と日活青春映画」
北里 宇一郎(脚本家)

上映終了後、脚本家の北里宇一郎さんに、日活の黄金時代を支えた青春映画のスターたちについてお話をうかがいます。

とき 12月16日(日) 昼2時~5時(開場昼1時)
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈図書室のつどい〉 「顔」についての心理学

お話し 山口 真美(中央大学)

私たちは毎日、たくさんの顔と出会います。鏡で見つめる自分の顔、ちょっと気になるあの人の顔。たくさんの顔の中から、どうしてあの人を見分けられるの?表情と感情はどうつながっているんだろう?美女や美男子の方が得するって本当?それとも、実は……?

「顔」は自分と社会をつなぐ接点ともいえる、と山口さんはおっしゃいます。そんな「顔」にまつわる様々な不思議を、心理学の立場から解き明かしてもらいましょう。



〈山口さんの本〉
『自分の顔が好きですか?—「顔」の心理学』(岩波書店)、『損する顔 得する顔』(朝日新聞出版) ほか

とき 12月14日(金) 夜7時~9時
ところ 公民館 地下ホール 定員 80名(当日先着順)
*申込は不要です。ご自由においでください。

〈くにたちブッククラブ 幻影を追う、記憶をたどる〉 佐藤春夫『美しき町』 (『美しき町・スペイン犬の家』所収、岩波文庫)

講師 大野 亮司(亜細亜大学・日本近代文学)

とき 12月13日(木) 夜7時~9時
ところ 公民館 3階講座室
申込先 公民館☎(572) 5141
*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

〈哲学講座〉

長谷川宏さんと読む「幸福とは何か」

講師 長谷川 宏(哲学者)

ヘーゲルの翻訳や哲学研究で多くの著書を出している長谷川宏さんを講師に、6月に発刊された『幸福とは何か』をテキストとして取り上げます。

幸福とは何か。人類は生誕から今まで自問自答してきました。この問いに古今東西の哲学者たちはどう向き合ってきたのか。日常生活の目線から幸福のかたちを長谷川さんとともに探してみましよう。

〈長谷川さんの著訳書〉

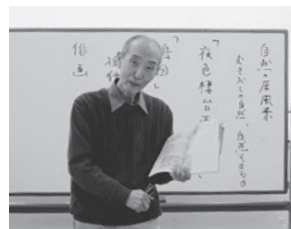
ヘーゲル『精神現象学』の翻訳でドイツ連邦政府翻訳賞受賞。『高校生のための哲学入門』(ちくま新書)、『ことばをめぐる哲学の冒険』(毎日新聞社)、『双書哲学塾 生活を哲学する』(岩波書店)、『ちいさな哲学』(春風社) ほか多数。

※テキストの『幸福とは何か』(中央公論新社)をご用意ください

とき 1月12日、19日、26日、2月9日、16日(全5回)
土曜日、昼2時~4時

ところ 公民館 3階講座室
定員 27名(申込先着順、全回出席できる方)

市内在住者優先、定員に達しない場合は市外在住者も参加可能
申込先 12月11日(火) 朝9時~
公民館☎(572) 5141



くにたち野鳥観察

冬は木々の葉が落ち、野鳥観察に最適の季節です。12月は座学で写真等を見ながら解説してもらいます。1月は城山周辺、2月は多摩川周辺で野鳥観察を行います。ぜひ、3回続けてご参加ください。皆さんと一緒に国立の鳥を観察してみましょう。

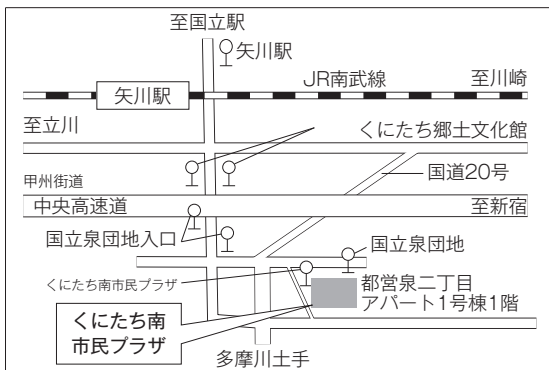
講師 佐伯 元行 (国立あおとり保育園 園長)
 中島 徹也 (くにたち探鳥会)

- ◆第1回 12月16日(日)朝10時～12時頃
南市民プラザ(座学)
 - ◆第2回 1月27日(日)朝9時30分～12時頃
城山周辺(観察会)
 - ◆第3回 2月17日(日)朝9時30分～12時頃
多摩川周辺(観察会)
- 集合・解散 第1回 南市民プラザ(会議室)
 第2回 郷土文化館前
 第3回 南区公会堂前

持ち物 筆記用具、お持ちの方は野鳥図鑑、双眼鏡等
 定員 各回15名(申込先着順)
 ※観察会が荒天の場合は中止にします。

申込先 12月7日(金)朝9時～
 公民館☎(572)5141

■南市民プラザへのアクセス



*JR南武線矢川駅より徒歩15分
 *立川バス「国立泉団地」バス停下車1分

地域で日本語支援をしたい人のための 日本語教育入門

地域で日本語を学んでいる外国にルーツのある方々に、日本語を教えてみたいと考えている方のための講座です。日本語を教える際に必要なことを、理論・実践の両方から学んでいきます。(全8回)

※講座終了後に、日本語サポートボランティアに参加することもできます。

◆総論篇：1月8日(火)
 ～地域の日本語ボランティアの役割とは～
 講師：林川 玲子
 (東京日本語ボランティア・ネットワーク)

◆体験篇：1月15日(火)
 ～日本語学習者の気持ちになってみよう～
 講師：ムラドリ アイダン
 (一橋大学 言語社会研究科)

◆理論篇：1月22日、29日、2月5日(火)
 ～日本語教育のための文法事項や文型について～
 講師：庵 功雄 (一橋大学・日本語教育)

◆実践篇：2月12日、19日、26日(火)
 ～地域日本語教室の現状理解と実践演習～
 講師：志村 ゆかり
 (関西学院大学 日本語教育センター)

時間 いずれも火曜日、夜7時～9時
 定員 25名(申込先着順)
 *市内在住者・全回出席できる方優先
 定員に達しない場合は、市外在住者も参加可能
 ところ 公民館 3階集会室
 費用 テキスト代実費 ※2,200円程度
 (『にほんごこれだけ! 1・2』ココ出版)
 申込先 12月12日(水)朝9時～
 公民館☎(572)5141

ところ 国立市第八小学校 体育館
 定員 20名(申込先着順)
 服装 長袖、長ズボン、体育館履き(必須)
 申込先 1月12日(土)朝10時までに電話で申し込みください。
 公民館☎(572)5141

▼意外と重くて固いボールとアイシェード(目隠し)



▲勇気をもってブロック

〈パラスポーツ体験講座 第2弾〉

ゴールボールをやってみよう

～見えない世界で思いっきり投げた後のドキドキ～

ゴールボールは、目隠しをして鈴入りのボールを転がすように投球し合い、ゴールを競うチームスポーツです。今回は実際にやってみます。世界でも活躍されている高田選手に、競技のコツやハイレベルな試合の様子についてご紹介いただきます。ぜひお気軽にご参加ください。

講師 高田 朋枝 (北京パラリンピックゴールボール代表選手、日本パラリンピアンズ協会理事)
 コーディネーター 川田 幸生 (一橋大学大学院生)

とき 1月12日(土) 昼1時～3時(*現地集合・解散)

はじめての銅版画

講師 山本 佳奈枝 (銅版画家)
さかた きよこ (銅版画家)

興味はあるけど、難しそう？ どうやって創るのかな？ そんな疑問に応えながら銅版画創作を楽しむ、初心者向けのワークショップです。銅版画ならではの繊細な線で小さな作品を創ります。集まった仲間とともに作業の時間を楽しみながら、作品を創ってみませんか。出来上がった作品はロビーで展示する予定です。

銅版画(エッチング)とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙のせ、プレス機で刷って作る版画です。



インクをつめています



うまく刷れたかな？

第55回東京都公民館研究大会

どうなる？ どうする？ 社会教育 ～連携・協働・参加の成果を発信しよう～

東京都公民館連絡協議会主催の研究大会が開催されます。今年度は、午前中は基調講演、午後は下記4つの課題別集会に分かれて東京の公民館に関わる英知を結びます。

近年、社会教育を取り巻く環境は、大きく変容しています。教育の力をどのように発揮するのか、任せる地域づくりから、住民が自ら参画する力に学びの力をどのように結びつけるかを探る大会にしたいと思います。

■基調講演 牧野 篤さん (東京大学大学院教授)

■4つの課題別集会

- ①社会教育関係団体に“地域への貢献”は求められるべきか
- ②地域づくり事業の実践～多摩コンファレンス～
- ③市民と職員の相互作用を考える
- ④公民館講座受講後の展開

～学びを活かして活動するには～

どなたでもご参加できます。お気軽にお問い合わせください。

*詳細は公民館にある大会開催要項をご覧ください。

と き 2月3日(日) 朝10時～夕4時

ところ 東大和市立中央公民館ホール ほか

参加費 1,000円

申込・問合せ 国立市公民館 ☎042 (572) 5 1 4 1

と き 1月20日、2月3日、17日、3月3日
いずれも日曜日 昼2時～5時

ところ 公民館 3階実習室

定員 10名(申込先着順)

対象 原則休まずに出席できる方
市内在住、在学、在勤、はじめて参加する方を優先します。

材料費 1,000円(ニードル、銅板、版画紙など)

持ち物 8×10cmの下絵(タテヨコ自由)

エプロン(汚れてもよい服装)、筆記用具

申込先 12月15日(土)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



わきあいあいと作業しています

来年度、保育を希望するグループは お知らせください

公民館で活動している市民グループに継続的に参加する場合に限り、活動時間中に公民館の保育室で保育を行います。来年度(2019年4月～)保育を希望するグループ、考えているグループは1月末までに公民館へお知らせください。

〈保育室開室時間〉

火曜日～金曜日 午前10時～12時

午後2時～4時

土曜日 午前10時～12時



〈要件〉

市内在住の学齢前の子ども。毎週火曜日、毎週水曜日というように定期的に通えること。

*詳細は公民館へお問い合わせください。

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

第32期国立市公民館運営審議会発足

公民館運営審議会は、市民の立場から公民館事業などについて調査・審議する委員会です。

(任期：平成30年11月1日から平成32年10月31日まで)

	氏名	所属・役職(推薦団体・機関)
1	若林 秀一	国立市立小・中学校副校長会
	今村 和義	心遊会
	隈井 裕之	くにたち地域コラボ
2	山根 浩子	公民館利用者連絡会
	鶴田 美緒	くにたち子ども劇場
	龍野 瑤子	加害者としての戦争を語る会
	高野 宏	国立市商工会
	末光 翔	青年室利用者連絡会
	富田 和枝	哲学読書会
	深川 彌生	いちよう並木国立自治会
	天野 聖子	社会福祉法人多摩棕櫚亭協会
	池田 祐子	KUNIFA 日本語サポート
	3	三好 紀子
4	大串 隆吉	首都大学東京名誉教授
	青山 鉄兵	文教大学人間科学部人間科学科准教授

(注) 1：学校教育関係者 2：社会教育関係者
3：家庭教育関係者 4：学識経験者

公民館運営審議会報告

11月13日(火)第32期第1回定例会を開催。委員14名、教育長、館長、職員2名が出席。傍聴3名。

はじめに教育長から各委員に委嘱状を伝達(任期は平成32年10月31日までの2年間)。教育長挨拶では、文教地区運動から国立市公民館の建設や公民館運営審議会設置に至る歴史、現在策定が進められている生涯学習振興・推進計画についての話等があった。

その後、各委員の自己紹介が行われ、委員長、副委員長等の選出について話し合った。最初に委員長の立候補を確認したところ、2名の立候補があり議論が行われた。

が結論に至らなく、副委員長・社会教育学習会担当・東京都公民館連絡協議会委員部会委員の選出と合わせ、引き続き話し合うこととなった。

尚、社会教育委員の会委員推薦については、任期が来年4月末までのため、次回以降に話し合うこととなった。また、公民館だより編集研究委員には、山根浩子氏、鶴田美緒氏、末光翔氏が選出された。

報告事項

事務局より、東京都公民館連絡協議会主催の研究大会についての情報提供等を行った。

次回、12月11日(火)午後7時15分から。傍聴歓迎。(公民館)

「みんなで話そう公民館講座—市民と職員で『学び』をふりかえる会実施記録—」を発行しました。

第31期国立市公民館運営審議会が、今年1月7日(日)に行なった「みんなで話そう公民館講座—市民と職員で『学び』をふりかえる会—」を実施記録としてまとめました。

公民館図書室でご覧になれます。公民館のホームページからもダウンロードできます。



公民館をキレイにしよう！ でピカピカになりました！

会場調整会やチラシで呼び掛けた「公民館をキレイにしよう！」。

10月15日(月)午後、市民と職員総勢27名で階段手すり及び図書室カウンター前と事務室内の柱のペンキ塗り、地下ホールの壁の修理を行いました。公民館内が明るく、きれいになりました。



柱が真っ白になりました！



きれいな壁に変身！

呼び掛け

- ・第63回くにたち市民文化祭実行委員会
- ・公民館利用者連絡会
- ・くにたち地域外国人のための防災連絡会

ひろば

(8ページにもあります)



会員募集 社交ダンス絆

健康と仲間づくりに始めてみませんか。男女プロ指導者による指導。初心者歓迎。中級者も満足できます。お気軽にお越しください。

日時 毎週火曜日 昼3時～5時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 櫻井090(559)4846

数学を楽しむ教室(12月期)

第一部は一般の方、第二部は中高生が対象です。手も動かし、数学に関心がなかった方にもこんなに面白く身近なのだと感じていただきます。気軽にお越しください。

日時 12月1日(土)、23日(日) 昼1時～
場所 公民館 集会室・小集会室
連絡先 三浦070(508)8571

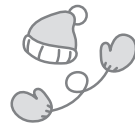
くにたち音楽祭 出演団体募集

第44回くにたち音楽祭(来年6月9日、くにたち芸小ホール)に出演する市内の合唱・器楽サークルなどを募集しています。締め切り12月20日。詳細は連絡先まで。

場所 芸小ホール
連絡先 青山(574)1515

ひろば

(7ページにもあります)



第9回東日本大震災写真展

忘れてはいけない。3・11から七年が経ちました。津波被災地のひとつ、岩手県釜石市の震災直後とその後の街の姿を記録した比較写真を展示いたします。

日時 12月11日(火)～16日(日)
場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 古川 090 (9230) 1498



紅葉の大学通り
征治(くにたち写真会)

江戸庶民の暮らしを知る会

江戸時代の人は何を食べていたの？仕事や住居は？結婚は？江戸の人達の暮らしを面白おかしく知ろう！講師はNHKラジオ演芸解説でお馴染み、作家の稲田和浩氏。

日時 12月22日(土) 夜7時半～
場所 公民館集会所 会費500円
連絡先 中島 080 (5466) 6180

第46回元巨マラソンお知らせ

参加種目10km、5km、3km参加資格小学生以上健康な男女。参加費高校生以上500円、中学生300円、小学生無料。当日受付徴収。午前10時スタート。

日時 元巨朝9時までに集合。
場所 多摩川河川敷グラウンド
連絡先 立石 090 (8331) 7095

つきたて餅を一緒に食べよう!!

年長～小5男女対象。費用100円。(保険料込)小学生未満保護者同伴申込12/29迄。お楽しみコーナーあり。ポイイスカウト国立2団

日時 1月13日(日) 朝10時～12時
場所 市内の集会所(予定)
連絡先 大島 (575) 3466
chie-pion-0917@docomo.ne.jp

「太陽と卵の会」新年茶話会

自閉症スペクトラム・注意欠陥・多動性障害・学習障害を考慮する会です。日頃の困ったことなど、一緒におしゃべりしませんか？小さなお子様連れでも大丈夫。

日時 1月14日(月・祝) 10時半
場所 国立市内 申込時お知らせ
連絡先 鈴木 080 (3443) 6395

*「ひろば」

写真募集中*

国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

公民館 年末年始の

お知らせ

12月29日(土)～

1月3日(木)

この期間は、公民館全体がお休みになります。

また、2月分の会場調整会は、1月5日(土)朝10時から行います。

参加申込書投入期限は12月27日(木)午後10時です。通常より一週間早まっていますので、ご注意ください。

〈サークル訪問327〉 国立聖書研究会

なごやかな雰囲気の中、開会には讃美歌を皆で歌うことから始まりました。心地よいやさしい歌声に包まれます。

聖書研究会では、新約聖書と旧約聖書を月替わりで交互に取り上げ、一章ずつ順々に読み進めているそうです。レポーターは数人が交代で担当し、今回は加納さん。今日の対象は旧約聖書の「イザヤ書」第15章で、皆で輪読した後、預言者イザヤが活動した時代背景や政治情勢など、紀元前8～6世紀の地図を示しながらの解説により、ただ読んだだけではよく分からなかった内容への理解が深まります。

参加者の感想からは、聖書に書かれたことをただ古典として理解するだけでなく、周りの大國から攻められ難を逃れて家財・家畜も持てるだけ持って逃げる様子を、現代の難民問題とも重ね合わせて捉えていることが伝わってきました。共生、困っている人への思いやりの話は、西日本の豪雨による高齢の被災者やボランティアの話にもつながりました。

参加者は40代から90代まで幅広く十数名。家族連れで参加する方



はじめと終わりは賛美歌♪

もあるとのこと。キリスト教の信者であるかは問わないそうです。客観的、学問的な方法で人間としての生き方について学ぼうとしていることが感じられました。参加者からは「大学の講義と同じくらい充実している」「何を言っても自由」との声もありました。発足はなんと1965年、木造の公民館から始まったそう。聖書を深く読むことで、自分の生き方を考える場に行っていることが伝わってきました。自由でオープンなこの会に参加してみたいかがでしょうか。

日時 第4日曜朝10時半～12時半
場所 公民館 中集会所
連絡先 加納 03 (3520) 9733
〈文・写真 鶴田 美緒〉